

こっこめ通信 10 2014

「やっぱい賑やかがイイ」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

9月に入って次々に発生した台風。9月9日未明に八丈島の南を通過した台風14号による八丈島への被害はありませんでした。しかし台風に近い青ヶ島では学校の校舎や体育館などのガラスが割れる被害があったようです。さらに、9月24日にグアム島近海で発生した台風17号は当初の予想よりも東に進み、風は強かったものの、定期船や飛行機などの欠航だけで大きな被害はありませんでした。台風の時期はもう少し続きます。島の周りの海水温も高い状態が続いているので少し心配ですが、被害が無いまま冬を迎えたいものです。

さて今回は、「秋の展示水槽の様子」「珍鳥・ハリモモチウシャクと秋の鳥」のお話です。

秋の展示水槽の様子



アカハタ



スミツキハタ



オキナヒメジ



コクテンサザナミハギ

ビジターセンターに入ってすぐの場所に、八丈島の海の生きものを展示している水槽があります。この水槽には、八丈島で採集したエビ・カニ・魚など様々な生きものが入っています。月に一度行われる水槽管理の日に、水槽内で大きく育った生きものは海に帰し、替わりに小さな生きものを採集してきます。夏から秋は黒潮に乗ってやってきた小さな生きものが増える時期でもあり、水槽の中が大きく様変わりします。今月は入れ替わりが激しく、幼魚たちの華やかな水槽になりました。

今回初めて水槽に入ったアカハタ、スミツキハタ、オキナヒメジ、コクテンサザナミハギは、一週間で水槽に慣れ、食欲旺盛です。また、水面近くを枯れ葉のようにふらふらと泳いでいるナンヨウツバメウオは、小学生が漁港の中で見つけ、捕まえてきてくれました。中層を泳ぐブチススキベラも枯れ葉のように見えますね。ミヤケテグリは歩いているように見えるので、観光客の方たちに人気があります。色鮮やかなフウライチョウチョウウオが水槽の中に入るのは2回目。先代は3年近く飼育していたので、今回はもっと長生きしてもらうように頑張ります。

9月末現在、水槽の中は25種類の小さな魚たちで賑わっています。ぜひ、魚達に会いに、ビジターセンターへおじゃりやれ！



ナンヨウツバメウオ



ブチススキベラ



ミヤケテグリ



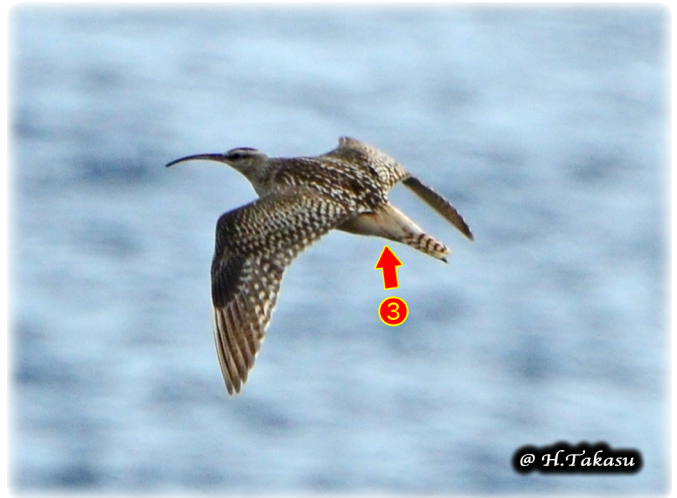
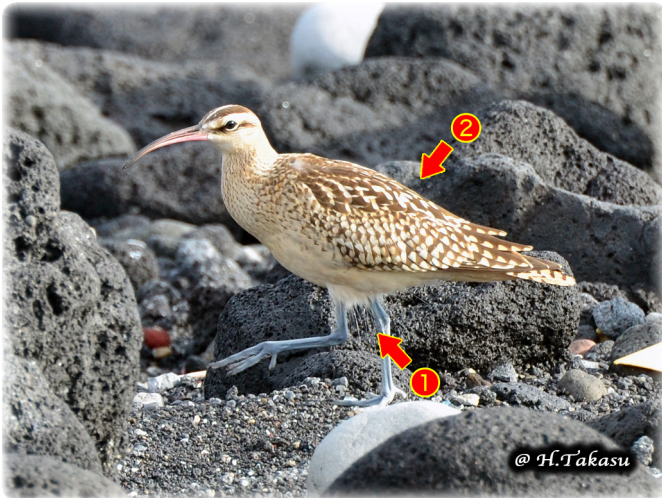
フウライチョウチョウウオ

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

珍鳥・ハリモモチュウシャクと秋の鳥

今年も秋の渡りが始まりました。そんな中、とてもビックリな鳥が確認されました。

9月1日、島のバードウォッチャー沖山美枝子さんが、島の西側にある大潟浦園地近くの新防壁の上で1羽の鳥を見つけました。「普段見慣れているチュウシャクシギとは雰囲気が違う」と連絡があり、確認に行きました。



①腿の羽が針のように尖がっている（名前の由来になっている）、②上面の斑紋が明瞭、③上尾筒が薄い褐色であることが特徴的なこの鳥は「ハリモモチュウシャク」。アラスカで繁殖し、ハワイやミクロネシアなどで越冬し、日本へは稀な迷鳥として飛来することがあります。新防壁の上で片脚立ちで休み、車が通っても動く様子がなかったのは長旅で疲れていたからでしょうか？海の方へ一度飛び立ちましたが、すぐに海岸へ引き返してきました。

この情報を9月2日の最近の話題（http://www.hachijo-vc.com/topics/archives/2014/09/post_1145.php）で紹介したところ、SNSで広まり、たくさんの問い合わせがありました。翌日、大潟浦園地周辺には来島した数名のバードウォッチャーの姿もありました。その後ビジターセンターでもいろいろな場所を探しましたが、9月2日以降の確認情報は入っていません。無事に越冬地へ辿り着いてくれるといいのですが。



珍しい鳥ばかりではなく、常連の鳥たちや久しぶりの鳥たちも渡ってきています。

アオアシシギが見られるのは春に多く、秋は珍しいです。エリマキシギは、写真の雄幼鳥の他に雌幼鳥も確認されています。セイタカシギも2羽渡ってきましたが、すぐに姿が見えなくなってしまいました。写真のエゾビタキは先陣を切って渡ってきたようで、これからもう少し数が渡ってくるはずですが、チョウゲンボウは通過組と冬鳥として越冬する個体もあります。ヨシゴイはあまり姿を見せないため数は分かりませんが、毎年春も秋も確認されています。

紹介した7種以外に9月以降に確認された鳥は、タカブシギ、イソシギ、クサシギ、キアシシギ、コチドリ、メダイチドリ、ムナグロ、チュウジシギ、トウネン、キョウジョシギ、コガモ、バン、ゴイサギ、アオサギ、ハヤブサ、ハクセキレイ、キセキレイ、ツメナガセキレイの25種です。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は9月14日(13時30分～15時)に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成26年第9回） 参加者：矢野、永井、茂手木、沖山、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			34	ナキリスゲ	花	18	ホルトノキ	実
1	アオツツラフジ	実	35	ハチジョウアザミ	花	19	マンリョウ	若い実
2	アオノクマタケラン	実	36	ハチジョウシュスラン	花	20	モチノキ	実
3	アシタバ	実	37	ヒガンバナ	花	21	ヤブツバキ	実
4	イガガヤツリ	実	38	ヒナギキョウ	花と実	22	ヤブニッケイ	実
5	イワニガナ	花	39	ヒメムカシヨモギ	蕾	シダ植物		
6	ウスベニニガナ	花	40	ヒメヨツバムグラ	花と実	1	イシカグマ	
7	ウリクサ	花と実	41	フトウカズラ	実	2	ウチワゴケ	
8	オオバコ	花と実	42	ブラジルコミカンソウ	花と実	3	オオイタチシダ	
9	オニタビラコ	花と実	43	ヘクソカズラ	花と実	4	オオタニワタリ	
10	オヒシバ	実	44	ママコノシリヌグイ	花	5	オニヤブソテツ	
11	カタバミ	花と実	45	メヒシバ	実	6	カニクサ	
12	カヤツリグサ	実	46	メリケンカルカヤ	花	7	コハシゴシダ	
13	カラムシ	実	47	ヤハズソウ	花	8	タチクラマゴケ	
14	キツネノマゴ	花	48	ヤブマオ	実	9	タチシノブ	
15	キンゴジカ	花	木本			10	タマシダ	
16	クグガヤツリ	実	1	イタピカズラ	実	11	ナチシケシダ	
17	クルマバザクロソウ	花と実	2	イヌビワ	実	12	ノキシノブ	
18	コニシキソウ	花と実	3	オオアリドウシ	実	13	ハカタシダ	
19	コミカンソウ	花と実	4	オオバヤシャブシ	実	14	ハチジョウカナワラビ	
20	ザクロソウ	花と実	5	オオムラサキシキブ	実	15	ハチジョウシダ	
21	シマササバラソ	実	6	ガクアジサイ	実	16	ハチジョウベニシダ	
22	シマスズメノヒエ	実	7	サカキカズラ	蕾	17	ヒトツバ	
23	センニンソウ	花	8	シチトウエビヅル	花	18	ホシダ	
24	タケダグサ	花	9	シマクサギ	花	19	ホラシノブ	
25	チチコグサモドキ	実	10	スダジイ	実	20	マツバラソ	
26	チヂミザサ	花	11	テイカカズラ	実	21	マメヅタ	
27	チャガヤツリ	実	12	トベラ	実	今回は、シダ植物21種を含む91種の植物を観察しました。カラスバトが何度か見られ、クワゴマダラヒトリの卵塊が目立ったので、手が届く場所は駆除しました。		
28	ツメクサ	花	13	ハゼノキ	実			
29	ツユクサ	花	14	ハチジョウイボタ	実			
30	ツルボ	花	15	ハチジョウキブシ	実			
31	テリハノブドウ	花と実	16	ヒサカキ	実			
32	トウバナ	実	17	ヒメユズリハ	実			
33	トキワハゼ	花						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、水槽で飼育している「レンテンヤッコ」にスポットを当ててみたいと思います。



レンテンヤッコ

Centropyge interrupta

キンチャクダイ科の魚で、伊豆諸島や小笠原で多く、相模湾、豊後水道や遠くハワイ諸島クレ環礁などでも確認されています。

雌性成熟で生まれたときはすべて雌。雌は顔のオレンジが強く、雄になると背びれや臀ビレの後に黒いラインが入り、顔には青い斑が増えます。八丈島では、ごく普通に見られます。

2014 八丈ビジターセンター 10 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	 この色の日は 行事があります		1 	2	3	4 ガイドウォーク
			10 : 18 03 : 01 20 : 36 15 : 09	12 : 08 04 : 16 21 : 56 16 : 54	13 : 40 05 : 53 19 : 06	00 : 14 07 : 22 14 : 35 20 : 20
5 ガイドウォーク	6	7	○寒露 8	9	10	11 ガイドウォーク
01 : 53 08 : 29 15 : 15 21 : 07	03 : 00 09 : 22 15 : 49 21 : 48	03 : 54 10 : 06 16 : 20 22 : 26	04 : 43 10 : 46 16 : 50 23 : 03	05 : 29 11 : 22 17 : 19 23 : 39	06 : 14 11 : 56 17 : 47	06 : 57 00 : 15 18 : 14 12 : 28
12 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	13 ガイドウォーク 秋の特別行事 「八丈富士裾野 ハイキング」	14	15	● 16	17	18 ガイドウォーク
07 : 39 00 : 52 18 : 42 12 : 59	08 : 23 01 : 30 19 : 10 13 : 31	09 : 12 02 : 11 19 : 41 14 : 07	10 : 16 02 : 58 20 : 19 15 : 00	11 : 46 04 : 00 21 : 34 16 : 56	13 : 15 05 : 23 19 : 26	00 : 13 06 : 51 14 : 07 20 : 25
19 ガイドウォーク	20	21	22	霜降 23	● 24	25 ガイドウォーク 八丈学講座 「沢の小径自然観察会」
01 : 50 07 : 59 14 : 42 20 : 59	02 : 48 08 : 49 15 : 10 21 : 28	03 : 32 09 : 29 15 : 37 21 : 55	04 : 11 10 : 04 16 : 02 22 : 23	04 : 48 10 : 36 16 : 28 22 : 52	05 : 25 11 : 07 16 : 55 23 : 22	06 : 02 11 : 39 17 : 22 23 : 55
26 ガイドウォーク	27	28	29	30	● 31	
06 : 40 12 : 11 17 : 50	07 : 22 00 : 29 18 : 20 12 : 45	08 : 07 01 : 08 18 : 53 13 : 23	09 : 01 01 : 51 19 : 32 14 : 10	10 : 07 02 : 43 20 : 24 15 : 16	11 : 28 03 : 49 21 : 55 17 : 00	

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
10 / 12 (13 : 30 ~ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

全国自然歩道を歩こう月間 「八丈富士裾野ハイキング」

全国自然歩道を歩こう月間に合わせたハイキング、今年も八丈富士の裾野を歩きます。
10 / 13 (9 : 30 ~ 約6時間) 小学生以上 (低学年は保護者同伴)
ビジターセンター集合・解散 参加費：500円 (保険・交通費) 定員：20名

八丈学講座 「沢の小径自然観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は、中ノ郷地区の沢の小径で自然観察会を開催します。
10 / 25 (13 : 30 ~ 約1時間半) 中学生以上
えこ・あぐりまーと集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

11 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

14 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

15 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

16 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2014.10.1 第161号

開館時間 9 : 00 ~ 16 : 45 年中無休 (入場無料)
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

ハリモモチュウシャクの反響はとても大きかったです。メールや電話での問い合わせ、実際に八丈島まで探しに来てくれた方もたくさんいました。ハリモモチュウシャクさんも1日だけではなく、もう少し滞在して、みんなを楽しませてくれたら良かったんですが・・・。(高)